子どもの生きがいある生活を求めて

青少年を健やかにたくましく

明日をになう青少年を心身ともに健やかに、たくましく育てたい……これは誰しものっ願の願いです。

昨年、新津市青少年問題協議会が長期にわたる調査、検討して「青少年健全育成総合対策」という計画を決めました。そして、当市の実情にあった基本的な中期計画として、新年度から積極的に推進されることになりました。

しかし、これらの成果を期待するには、有機的連けいのもとに家庭で、学校で、職場で、そして地域社会の中で一貫性のある実践活動と生活の中から生まれる周囲のあたたかい愛のみちびきが必要です。

人間だれしもが求める心の豊かさ、ゆとり……このことは自体は、その値うちが増えこそすれ、決して下がるものではありません。各自がその立場、立場で一つの〝生きがい〟として求めていくものなのです。では、子どもたちはいったい生活の中とんなことを値うちのあることとして意識しているのでしょうか。

このようなことから年のはじめにあたり、子どもの生きがいある生活を求めて、青少年の健全育成はどのように推進されていかなければならないかを中心に、実際の活動をとおしたご意見や、子ども自身の考えている〝生きがい〟などについて今後の推進のためとするために寄稿いただき、特集してみました。

ぼくの生きがい

南町　川瀬知之（第一小学校六年）

学校にいるときで楽しい、はりあいがあるときといえば、ぼくは遊んでいるときとクラブのときそして人のためになったときだと思う。遊んでいるときとクラブのときは、楽しいという面で人と人との交際をしながら遊ぶ。また、あるものを忘ぎすものが集まりあって楽しくやる。それがいちばん楽しいことである。

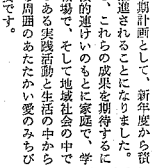
それから、人のためになるということだが、悪いことをやって気をおもくしたり、普通と違ったり、規則どおりにくらすよりなにか一日に一回、人のため社会のためになったほうが、その日一日が明るくかんじられるのではないだろうか。自分では、人のためになったことはめったにないが、一日一番と目標をたて、地味なことでも人のため社会のためになることをやっていきたいと願っている。そして、それが一番のいきがいかもしれない。

学校から帰ってからや新聞を読んでいるときとテレビを見ているときだといえる。本や新聞を読んでいることは豊かになる。そして、社会情勢についての理解もついてくると思う。テレビについてもおなじことがいえると思う。現実のきびしさ、社会のできごとが、ニュースなどを通じてよくわかる。

これからのぼくの希望は、みんなでのしんなスポーツができるような場所をつくってもらいたいったにないが、一日一番ことである。

ぼくの地域では、遊び場がない。そのせいか友だちづきあいもあまりない。そこで、もう一度いろいろと遊び道具はなくても、みんなが楽しく遊べる公園をつくってもらいたいと思っている。

もし、いまいったことが実現したら、きっと明るいまちになると思う。



私の望み

七日町　帆苅美弥子（第三中学校三年）

〝こんなしてテレビ見ていいの〟……〝ちょっとくらい、いいじゃない〟

目をテレビの画面にくぎづけにしながら、私の心の中には二つの〝ことば〟が交互に浮かびてくる。ときどきこのように入り乱れる私の心である。

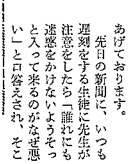
〝教師になりたい〟と、これが私の夢である。

小学生当時は、チャレンジすべきは学服を着ている敬手が出れば、私もあなたになりたいなあ…と思ったり、ある時は、白衣を着て優しく手を差しのべる看護婦さんに、また、ある時はかわいいお嫁さんにあこがれたりしたものである。〝でも今は小学生当時のようなたやすい考えではない。

私が教師を希望したのは、中学校生活の影響がとても大きい。友だちとともに教師について語りあいながら、〝先生がたの価値を決めるとなんてできる人間なのに、入学当時の私を思うと情けなく、とても恥ずかしい。

教師とは、寛大な心の持ち主でなければならない。そして、生徒とも人間としての心のふれあいをもつことがとても大切であり、必要なことでは、ないかと思う。それを思うと、はたして私がそうなれるかは疑問である。しかし、私の心はゆるがない。むずかしいだけにやりがいがあると思う。だから、なおのこと私はやってみたいという気持ちになるのかも知れない。

教師になるためには、どうしても学を出なければならない。そのためにも、まず、高校へ入ることが必要である。生徒会に入って、大きな仕事と責任とを持ってやっていかなければならない私にとって自分自身が規制し、合理的な生活を続けなければならないのに、ときにこうしてテレビを見ながら描れ動く私の心である。



交流を大切に

荻島　高橋節子（主婦）

新年おめでとうございます。青少年の健全育成は、個々の不良化についてはなく、あらゆる意味で悪影響を及ぼすものが、それらは絶しられるが、それらは絶しうより、普通の何んでもない家庭に育っており、どこの家にも関連のあることに気付くのである。

おとなが青少年の動きを知らず、また、理解しようとせず、あるいは無関心などに原因があるといわれている。

青少年の非行は、いつもおとなたちの責任が問われる。この意味で、家庭、地域社会の悪影響は無視できないことは申すまでもありません。

健全な青少年のために中で突発して起こるものの原因の排除につとめることも大切であろう。

家庭を含めたおとなたちのあたたかい愛情と理解、適切な指導によって、むずかしい青少年の心理状態を非行にはしらずにすむとなく、正しく導いていきたいものであるし、子どもをとどめまく親たちは常にその日常生活に目をそそぎ、思いやりと話し合いのなかで子どもの考えも聞いて思いやり、より積極的に正常少年の様を保ずさせない〝親〟こころも必要であろう。

現代社会においてはわが子一人はなければという狭い考えかたではどうにもならない時代である。

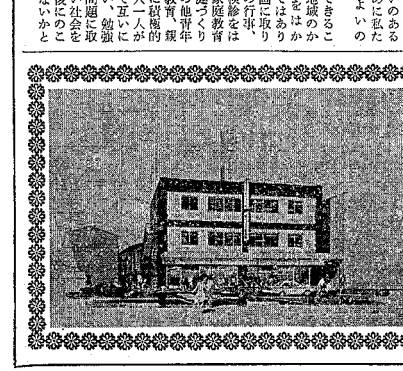
お互いにみんながみんなの子に関心を持ち、地域の子ども全体的な正しいあゆみこそ愛情のたづなをとっていくことがきわめて重要であることを忘れてはならないと思う。

問題について何かひと言というご依頼ですが、この問題はあまりにも大きな問題で、それこそ乳幼児から高校生になるまでの時期、一つを取り上げてもさまざまな問題がございます。

総合会議に掲げられた項目の一つ一つは大変立派なもので学校教育育ないては幼稚園から高校まで一貫した教育内容の充実をはかり、すでに実践にうつされ、着実に成果をあげております。

先日の新聞に、いつも遅刻をする生徒に先生が注意をしたら「誰れにも迷惑をかけないようそそっと入って来るのが分ってしょう」と口答えされ、そこで先生が一勉強が遅れて君が損をするのだ」というと「損をしようが得をしようが俺の勝手だ」と答えたとか。それに対して教師はあっさりでも運刻が悪いということを納得させることが出来なかった……という記事を読みました。現代は、ものの考えかたの共通が乱どの時代と違ってきてとまどうことが多いと思います。

毎日の新聞、テレビなどに青少年犯罪のショッキングなニュースがのらない日が無いくらいで、何が原因なのか、注意をしてもらいたいと思います。



あけましておめでとうございます

本年もお買得品を満載してスタートいたしました

昨年同様お引立の程お願い申し上げます。

フードセンターはいつも考えています……奥様のお役に立つ事を！

にいつフードセンター

本部配送センター　三ノ町店　新町店　山谷店　駅前店　加茂店

(2)0013　(2)0656　(2)0668　(2)7906　(2)7797　(2)6129